

ご参加者各位

(一社)空港グランドハンドリング協会
代表理事・会長 穴倉 幸雄

第4期 グランドハンドリングシンポジウムの開催について

時下、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍以前の雇用規模への回復を目安として取り組んできた歩みを踏まえ、第4期事業計画に基づき、今後のインバウンド6,000万人の実現や物流機能の強化に向け、グラハン業界がその生産力を持続的かつ安定的に維持・向上させていくための新たなステージについて、協会内外の関係者の皆さまと認識を共有することを目的として、下記のとおりシンポジウムを開催させていただきます。

つきましては、ご多用のところ恐れ入りますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時:2026年10月13日(火)14:00~17:30

2. 開催形式:対面とWEBのハイブリッド形式

※対面参加については、上限200名様程度を予定しております。

※WEB URLは後日、参加者の方にお送りさせていただきます。

3. 対面会場:羽田空港第3ターミナル TIAT SKY HALL

(アクセス方法:<https://www.tiatskyhall.jp/access/>)

4. 内 容 :

シンポジウムテーマ:競合から共創へ。持続可能なグランドハンドリングの未来を拓く。

(1) 基調講演

【講師①】国土交通省 航空局 航空ネットワーク部長 黒須 卓 様

「グラハンを取り巻く環境について(仮題)」

- ・国内航空のあり方に関する検討状況について
- ・航空需要を踏まえたグランドハンドリングが直面する構造的課題について

【講師②】慶應義塾大学商学部 教授 加藤 一誠 様

「強いグラハン業界をめざす構造改革について」

- ・国内航空のあり方に関する検討状況を踏まえた、今後の想定について
- ・観光立国推進基本計画におけるインバウンド増加への対応について
- ・空港機能の維持・強化に向けて関係者が果たすべき役割について

(2) パネルディスカッション

テーマ:他社や他空港の先進的な取組を共有し、自社・自空港の「あるべき姿」を考える。

コーディネーター:慶應義塾大学商学部 教授 加藤 一誠 様

パネリスト:北海道 総合政策部 航空港湾局長 丹野 正樹 様

佐賀県 地域交流部 空港課長 青山 拓実 様

熊本国際空港(株)代表取締役社長 山川 秀明 様

空ハン協 執行理事 三浦 佐紀子

5. 参加申込:下記Googleフォームより申込をお願いいたします。
申し込みフォーム:<https://forms.gle/8M83pkY5yGmeqnL59>
※申込期限 2026年10月5日(月)17:00まで
6. お問い合わせ:(一社)空港グランドハンドリング協会事務局(info@agha.jp)

以 上